



特非法人 日本防火技術者協会 2019年度定時総会 開催予告

日時：2019年2月1日(金)
13:30~14:30

場所：東京理科大学 森戸記念館
第1会議室(2階)

議題内容：

- 1) 2018年度事業報告の承認
- 2) 2019年度活動計画の承認
- 3) 2018年度会計報告・2019年度予算の承認
- 4) 次期役員(理事・監事)の承認
- 5) その他(SFPE 日本支部の事業報告・活動計画の報告、2018年度 JAFPE 防火技術者認定者の報告)

総会成立には過半の会員の出席が必要です。ぜひ御出席ください。出席できない正会員は、書面もしくは電磁的方法による表決、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができます。

総会に引き続き、下記の報告会が開催されますのでぜひご出席ください。

SFPE 性能設計に関するシンポジウムのケーススタディ報告会 「CLT 高層集合住宅の防火設計」 (仮題) 開催予告

日時：2019年2月1日(木)
15:00~17:00

場所：東京理科大学 森戸記念館
第1会議室(2階)

参加費：無料
資料代：会員無料 会員外 1000円

JAFPE 防火技術者認定者は、総会の出席(4ポイント)及びシンポジウムの出席(特別講習会として6ポイント)でCPDのポイントが獲得できます。ぜひ、総会およびシンポジウムにご出席ください。

JAFPE セミナー「工場等産業施設における防災のためのリスク軽減手法と爆発災害の原理」報告

日時：2018年3月27日(火)
15:00~18:00

場所：東京理科大学 森戸記念館
講演者：内藤延彦(FM Global)

産業施設の防火安全対策について、建築基準法、消防法、高圧ガス保安法、労働安全衛生法など、日本の法律の枠組みにとらわれて縦割りで考えがちな日本の防火技術者にとって、防火安全対策を火災科学の視点から横割りで総合的に考える思考方法を知る良い機会になりました。



写真：JAFPE セミナー会場の状況

高齢者避難 WG 報告

今年度の主たる活動メンバーは、笠原、栗岡、富松、大西、小林(恭)、堀田、山村、村井である。活動は以下の通りである。

- ・WGは7回(1/23, 3/5, 5/12, 7/27, 9/10, 11/5, 12/10)、建築会館にて開催。火災学会および建築学会発表内容検討、東京都防火研修会など：日本建築学会の「小規模な高齢者社会福祉施設の避難安全性能向上 WG 委員会」活動の一環として、活動成果の社会への展開活動の打ち合わせを行っている。
- ・2/23に東京消防庁石神井消防署の支援を得て大泉特別養護老人ホームにて施設関係者と消防署員併せて40名に対して防火研修会とFIG演習を行い、小林(恭)、山村、富松、堀田、栗岡が実施した。
- ・5/29-30に北九州市にて開催された日本火災学会研究発表会で山村と栗岡が2編の活動成果を発表した。
- ・7/4-6に日本学術会議(港区)にて開催された安全工学シンポジウム2018で小林と山村、栗岡が3編の活動成果を発表した。
- ・9/4-6に仙台市の東北大学にて開催された日本建築学会大会に山村と栗岡が最近の研究結果を2編発表した。
- ・11/1-2に大阪市にて開催された全国福祉用具相談・研修期間協議会平成30年度全国会議に栗岡が最近の研究結果を発表した。
- ・12/17-18に台湾消防庁と共催で「日本老人福利機構防災訓練及検証研究会」を開催し消防指導の関係者と施設職員合わせて約50名の参加を得た。内容は、日本の関連法規の紹介と夜間避難を上手くいかせるための戦略について小林(恭)が、火災図上演習(FIG)の方法について富松、訓練の検証法について山村、日

本の高齢者福祉施設の防火避難上の課題について栗岡がそれぞれ講演し、その後、参加者で討論会を行った。
・台湾の高齢者福祉施設3か所を視察する機会を得た。2施設は雑居ビル内にある30人程度の施設、1施設は4階建てのビルを施設として利用し、100人程度の規模であった。富松会員の指導の元(残りのものはファシリテーター)、台湾消防関係者約20人が見守る中で100人規模の施設職員5人が火災図上演習(FIG)を行った。施設職員並びに消防関係者の感触は概ね良好であった。



写真：新北市内の高齢者施設の入口状況

職能 WG 防火技術者のあり方検討委員会活動報告

本委員会のメンバーはオブザーバーを含め、栗岡(主査)、田中、佐藤、笠原、富松、堀田、角谷、中島、小林(恭)、福井、鈴木、原田、西村、野竹、内藤、熊谷、サニー神谷、赤津である。随時、関係者の参加も得て開催している。活動は以下の通りである。

- ・委員会を5回(1/30, 2/12, 3/27, 6/13, 8/27, 10/1, 11/26)開催しJAFPE 防火技術者の活動の在り方やCPD 制度の充実および防火・避難・耐火の性能設計法の課題及びシンポジウムの開催などを話し合った。東京理科大学にて開催した。
- ・3/27, FM Globalの内藤氏が第1回のJAFPE セミナーとして「工場等産業施設における防災のためのリスク軽減手法と爆発災害の原理」と題し、東京理科大学にて講演を行った。産業施設の防火安全対策について、日本の法律の枠組みにとらわれずに防火安全対策を火災科学の視点から総合的に考えるための講演を行った。参加者は30名であった。
- ・第6回目のJAFPE 防火技術者として11月30日応募締め切り、12月27日に認定委員会(委員長：田中、委員：矢代・小林(恭)・笠原・富松、事務局：堀田で構成)を開催し、応募者の中からJAFPE 防火技術者を選出した。



国際対応活動報告

2018年も、日本支部は支部活動が評価され、SFPE 本部の Chapter Excellent Award のブロンズを受賞しました。会員の皆様の活動の成果だと思えます。

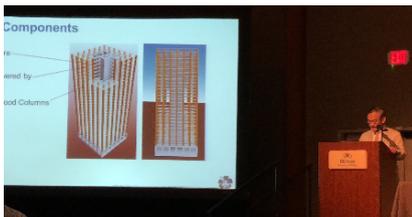
また、今年 SFPE の米国以外の支部のありが見直され、Affiliate Chapter として位置づけられました。併せてアジア地区の支部は SFPE Asia として交流活動を行っていくことになりました。

SFPE「防火の性能設計における国際会議」参加報告

4月26日から28日まで、ハワイ、ホノルルでSFPE主催の第12回性能規定と性能設計に関する国際会議が開催されました。このシンポジウムの中で開催されるケーススタディに JAFPE 日本支部としてWGを設けて準備し、参加しました。

日本から応募したのはCLTを使った高層集合住宅の防火設計で、WGから6名が参加しました。

日本の案は、構造体に被覆のないCLTを採用しており、消火活動がないと構造体の崩壊が避けられないため、消防活動開始前に全館の避難が完了するというストーリーで防火設計を行いました。今法改正で検討されている特定避難時間と消火活動の効果を見込んだ通常火災終了時間を比較するという考え方を先取りしたとも言える内容になっています。詳細は2月1日に開催される定期総会と同時に行われる防火研修会で報告いたします。



写真：発表風景

築地市場見納め隊 見学会報告

中央卸売市場の豊洲への移転に伴い、80年余りの歴史を閉じた築地市場の見学会「築地見納め隊」を9月15日(土)に実施し、多数の会員の参加を頂いた。

本見学会に先立つ7月21日(土)に安全確認を主目的とした下見会(理事他有志8名参加)を実施、9時から青果・水産物の買い回りを試みが、場内の混雑は甚だしく、大人数での見学実施は困難と判断した。

本番では市場の許容する見学時間11時より、5名程度の少人数班別の編成で青

果・水産物の仲卸業者の店舗を見学、売場の配置、商品の状況などを見て回った。3名の会員には各班の案内係のボランティア(お世話し隊)を務めていただき、接触事故などもなく無事に市場の様子を学ぶことができた。

本番の参加者は16名、さらに当日配布の案内資料での別途見学を希望された会員が2名あった。



写真：築地市場外観



写真：お世話し隊・青果部の見学風景



写真：発泡スチロール容器の回収状況



写真：水産物部の荷姿



写真 作業風景

エレベーター (ELV) 避難検討WG活動報告

メンバーは21名(野竹(主査)、相澤、今井、榎本、大坪、大豆生田、菊地、小林(恭)、下秋、城、関澤、添川、土屋、鳥枝、萩原、南、峯岸、諸藤、矢吹、山田、山本)である。新たにエレベーター協会、国交省、不動産、大学等からメンバーが加入し、ハード面・システム面も含め、より具体的な・実効的な課題解決の検討が行える体制となった。

WGは7回(1/29、3/28、5/22、6/26、7/25、9/11、11/2)開催した。

ガイドライン公表時に実施したシンポジウムで指摘された課題等に基づいて、今後の検討の方向性を議論した。特に「乗用エレベーターの火災時避難利用」、「専任の運行員を要さない運用のあり方」、「エレベーターの機器、制御システム側に求められる要件」等に対する関心が高く、今後、これらの点について検討内容の具体化を進めることとなった。

外部の研究助成制度(消防防災科学技術推進制度)の活用を検討し、申請に向けて研究課題の整理を行った。

理事会等の開催結果

理事会を以下の日に実施した。
2018年 1/17(水)、3/12(月)、5/14(月)、7/2(月)、8/30(木)、11/2(金)、12/21(金)、2019年 1/15(火)

会員情報

会員 162名
賛助会員 7社

新入会会員

- 天野 賢志 [(SOMPO)リスクマネジメント(株)]
 - 石立 隆真 [(マンボウ)不動産]
 - 大島 正樹 [(株)宮本工業所]
 - 加藤 孝一 [(防災・危機管理アドバイザー)]
 - Sanae Sunny Kamiya [(一社)日本防災教育訓練センター]
 - 小林 秀一 [(株)イズミシステム設計]
 - 下秋 元雄 [(一社)日本エレベーター協会]
 - 外村 賢昭 [(ホーチキ(株))]
 - 姫野 洋一 [(株)宮本工業所]
 - 宮本 正祥 [(株)宮本工業所]
- 敬称は省略させていただきます
(2019年1月現在)



SFPE・Jニュース
(SFPE 日本支部
の活動 第38号)

SFPE 日本支部 2019年度定時総会 開催予告

日時：2019年2月1日(金)
13:30~14:30

場所：東京理科大学 森戸記念館

議題内容

- 1) 2018年度事業報告
- 2) 2019年度活動計画
- 3) その他

Fire Technology

Vol.55, Issue 1, January 2019

■[Review Paper]

A Review of Factors Affecting the Burning Behaviour of Wood for Application to Tall Timber Construction: Alastair I. Bartlett, Rory M. Hadden, Luke A. Bisby, pp. 1-49

■[Review Paper]

Local Buckling of Steel Members Under Fire Conditions: A Review: C. Maraveas, pp. 51-80

■[Review Paper]

Review of the Use of Fire Dynamics Theory in Fire Service Activities: Nils Johansson, Stefan Svensson, pp. 81-103

■[Original Paper]

Assessing Vulnerability and Fire Risk in Old Urban Areas: Application to the Historical Centre of Guimarães: Santiago Granda, Tiago Miguel Ferreira, pp. 105-127

■[Original Paper]

A Model Considering the Flame Volume for Prediction of Thermal Radiation from Pool Fire: Gansu Shen, Kuibin Zhou, Fan Wu, Juncheng Jiang, Zhan Dou, pp. 129-148

■[Original Paper]

Fully Coupled CFD Simulation of the

Ignition Risk of Unburnt Gases in an Exhaust System Connected to a Mechanically Ventilated Enclosure Fire: H. Q. Dong, B. Magnognou, J. P. Garo, B. Coudour, H. Y. Wang, pp. 149-174

■[Original Paper]

Influence of Particle Size and Density on the Hot Surface Ignition of Solid Fuel Layers: Nieves Fernandez-Anez, Javier Garcia-Torrent, pp. 175-191

■[Original Paper]

Concurrent Flame Spread and Blow-Off Over Horizontal Thin Electrical Wires: Yong Lu, Xinyan Huang, Longhua Hu, Carlos Fernandez-Pello, pp. 193-209

■[Original Paper]

Air Curtains Combined with Smoke Exhaust for Smoke Control in Case of Fire: Full-Size Experiments: João Carlos Viegas, Hildebrando Cruz, pp. 211-232

■[Original Paper]

Improved Assessment of Fire Spread over Horizontal Cable Trays Supported by Video Fire Analysis: Pascal Zavaleta, Romain Hanouzet, Tarek Beji, pp. 233-255

■[Original Paper]

Extinguishing Smoldering Fires in Wood Pellets with Water Cooling: An Experimental Study: Ragni Fjellgaard Mikalsen, Bjarne Christian Hagen, Anne Steen-Hansen, pp. 257-284

■[Original Paper]

Experimental Study of Gas Cooling During Firefighting Operations: Stefan Svensson, Matthias Van de Veire, pp. 285-305

■[Original Paper]

Fire Resistance of Thermally Insulated Log-House Timber Walls: Chiara Bedon, Massimo Fragiaco, pp. 307-341

■[Original Paper]

An Efficacy Evaluation of Water Mist Protection Against Solid Combustible Fires in Open Environment: Hong-Zeng Yu, Xin Liu, pp. 343-361

■[Original Paper]

Using Phase Change Materials and Air Gaps in Designing Fire Fighting Suits: A Mathematical Investigation: H. L. Phelps, S. D. Watt, H. S. Sidhu, L. A. Sidhu, pp. 363-381

2018年1月から、Fire Technology 誌は、オープンアクセスジャーナルである Fire Science Reviews 誌と合併しました。合併後の新しい誌名として Fire Technology が踏襲されています。合併に伴い、Original Paper だけでなく、Review Paper も掲載されるようになりました。

Fire Technology は隔月に発行されています。各論文の詳細は、以下の URL をご覧ください。

<http://link.springer.com/journal/10694>